

情報社会と情報倫理	准教授 関川 弘
-----------	----------

1. 授業のねらい・概要

インターネットをはじめとする情報技術の発達によって私たちの生活は大変便利になりました。しかし、その反面、情報技術は従来になかった新たな社会的な課題を生み出しています。情報技術を活かして社会をさらに良いものにするためには、利便性の向上など情報技術がもたらす良い面を活かし、サイバー犯罪などの悪い面を抑える必要があります。そのために我々が知らなくてはならない、また守るべきマナーやルールについて理解を深めます。

2. 授業の進め方

講義形式で授業を進めます。学術的な文献をもとに、情報社会、情報倫理について基本的な内容を解説します。また、メディアで取り上げられている最新の記事やニュースを随時取り上げ検討します。

3. 授業計画

1. ガイダンス。情報社会とはなにか	8. 情報社会と法③（不正アクセス）
2. 情報倫理とはなにか	9. 情報社会とプライバシー
3. インターネットの歴史	10. 企業に求められる倫理
4. インターネットのインパクト	11. 情報技術者の倫理
5. サイバー犯罪の種類	12. 情報リテラシー
6. サイバー犯罪の事例	13. SNS、電子メールの利用
7. 情報社会と法①（知的財産権）	14. 最新の英文記事、海外文献抜粋の解説
8. 情報社会と法②（個人情報保護）	15. まとめ

4. 到達目標

メディアで取り上げられる情報社会や情報倫理に関する話題を理解できるようになること。また、将来、新しい問題に遭遇した時に冷静に対処できるようになること。

5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

準備として30分程度、関連文献を調査して下さい。インターネットを利用して調査するのも良いと思います。毎回の講義終了後、学習した内容をどれだけ多く、正確に説明・解説できるか自身で試みて下さい。友人とゲーム感覚で取り組んでいただくと良いと思います。

6. 成績評価の方法・基準

期末試験とレポート（A4、1枚、1回）で評価します。レポートについては、どれだけ多く思考したかを中心に評価します。試験とレポートの配点は別途周知します。

7. テキスト・参考文献

教科書は指定しません。参考書は適宜紹介します。必要な資料は講義中に配布します。

8. 受講上の留意事項

教材を使って、できるだけ多く思考するよう努めてください。具体的な方法は随時講義で指導します。